**図画工作科　学習指導略案**

日　時：令和３年９月22日（水）

対　象：第６学年３組　30名

会　場：６年３組教室

授業者：中根　誠一

１　題材名　「美術作品を見てみよう」B鑑賞（１）

２　題材の目標

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 美術作品を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するともに、タブレット端末を活用し、関心をもった美術作品の画像や感想、理由等をスライド資料に表すことができる。 | 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想したり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができる。 | 主体的に鑑賞する活動に取り組み、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。 |

３　本　時

（１）本時の目標

親しみのある美術作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。

（２）本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 〇学習内容 | ・指導上の留意点 | ◇評価規準〈評価方法〉 |
| 導入５分 | 〇前時を振り返る。〇本時の学習について知り、見通しをもつ。・お気に入りの美術作品を探して、感想や理由に発表用スライド資料にまとめる。・鑑賞会で、学級で共同編集したスライド資料を鑑賞することで見方や感じ方を深める。・タブレット端末を活用して、**Google Arts & Culture**を検索し、美術作品を鑑賞する手順を知る。 | **Google Arts＆Cultureの他、児童の写真等の映像作品なども活用することで、児童の実態に応じて鑑賞指導にICTを活用することができる。**・タブレット端末の忘れ物や電池切れ等に配慮する。 |  |
| 展開30　　分 | インターネットの美術作品を鑑賞して、お気に入りの美術作品を切り貼りしてスライドにまとめよう。〇インターネットの美術作品を鑑賞する。・気になった美術作品の画像を、切り取り、PowerPointのスライドへ貼り付ける。・お気に入りの美術作品を見た、感想や理由をPowerPointのスライドに記入する。学級みんなのお気に入りの美術作品のスライドを鑑賞しよう。◯友達と関心をもった理由を紹介し合う。◯友達が気になった美術作品の感想や理由から様々な見方や感じ方があることを知る。 | 　・選択した感想や理由について可能な範囲で、実態に応じて記入できるように個別に声をかける。・スライドをまとめた児童から、美術作品のAR（拡張現実）画像を鑑賞させる。 | ◇美術作品を鑑賞して、　お気に入りの美術作品を見つけたり、感想や理由をノートに書くことができる。【思・判・表】〈観察、スライド資料〉 |
| まとめ10分 | 〇本時の感想を発表する。・スライドを鑑賞した感想をノートに記入する。・本時の感想を発表する。 |  |  |

４　児童の主体的・対話的で深い学びを実現するための手だて

・見通しをもって、学習活動に取り組めるよう、個別に具体的に声をかける。

・それぞれ関心のある美術作品の感想や理由を明確にもてるようにスライド資料の枠を工夫する。

・TeamsのPowerPoint共同編集で作成したスライド資料から、多様な見方や感じ方があることを確認する。